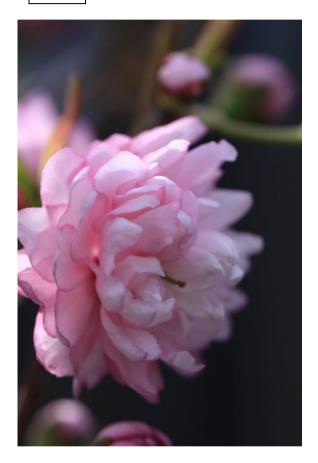
## 【樹木の部屋】

## <u>ニワザクラ (バラ科サクラ属 Prunus glandulosa )</u>

和名:ニワザクラ(庭桜) 別名: 英名:Chinese bush cherry

バラ目 落葉低木 原産地:中国

花言葉:高尚、秘密の恋、うつろいやすい愛 花色:淡赤、白



← 写真-1 ニワザクラの花

撮影日:2021年3月30日

撮影場所:大和郡山市郊外にて

撮影者:M さん

↘写真-2 ニワザクラの小枝

撮影日:2021年3月30日

撮影場所:大和郡山市郊外にて

撮影者:M さん



← 写真-3 ニワザクラの樹形

撮影日:2022年5月4日

撮影場所:大和郡山市郊外にて

撮影者:M さん



 $\rightarrow$  写真-4 ニワザクラの小枝

撮影日:2022年5月4日

撮影場所:大和郡山市郊外にて

撮影者:M さん





← 写真-5 ニワザクラの新梢

撮影日:2022年5月4日

撮影場所:大和郡山市郊外にて

撮影者:M さん

一重咲きの庭梅(ニワウメ)の近縁種の八重咲きであす。背丈が大きくならず、狭い庭でも育てることができるためニワザクラと呼ばれるそうですが、ソメイヨシノなどのサクラよりも、ユスラウメやニワウメに近い雰囲気を持つ低木の一つです。

中国では古くから「麦李」と呼ばれて観賞用に普及しているそうで、室町時代以前に日本へ渡来したと考えられているそうです。

開花は3月下旬~4月で、葉の展開よりもやや早いか、ほぼ同時に咲きます。花色は白あるいは淡い紅色で花弁は5~50枚。ニワウメよりも大きく、花数も多いため生け花に使われるそうです。花の後に果実がなるのは稀だそうです。

葉は長い楕円形ないし披針形の単葉で互生します。葉の縁には細かいぎざぎざ(鋸歯)があり、両端は尖ります。また葉の基部は二ワウメと異なり楔型になります。

ニワザクラには主だった幹はなく、細かな幹が株立ち状になり、樹高はニワウメよりも高いため、花のない時季は枝葉が繁茂したようになります。